

■部会名：安全・安心部会

■部会長（有識者委員）：佐々木 貴子 委員

■市民委員：石栗 和典 委員、梶井 正夫 委員、中村 紘子 委員、山崎 悟 委員

■概要

1 今回の進め方について

佐々木部会長：第3回までの部会の議論を踏まえて提言書のたたき台を作成してあるので、文言や内容等の追加・修正・削除等すべき点がないか確認をお願いします。

軽微な修正のみで今日中に提言書が完成すれば部会は今回で終了となるが、大幅な修正が必要な場合はもう1回部会を追加することもありえる。

まず提言書全体の構成を確認していただきたい。最初に部会長報告として、これまでの議論の概要と、それを踏まえた提言の大まかな方向性を記載してある。

次のまちづくり政策提言は、これまでに短期・中期・長期、ハード・ソフト・ハートづくりのマトリックスに整理した意見を、グループ化して括りながら文章化したものである。括り方などについても、これで良いか意見をいただきたい。また、まちづくり政策提言を作成する際にマトリックスも少し整理してある。「要援護者へ防災無線を整備」はすぐに着手するのは難しいと考え、中期に移動した。「幹線道路の除排雪（特に3番通）」と「3番通の中央分離帯が雪山になって視界が悪く大変危険」の2つは、除排雪関係の意見をグループ化するため、中期に移動した。

最後の戦略テーマ提言は、まちづくり政策の中から特に力を入れて取り組むべきものとして選んだ3つの戦略テーマについて記載した。戦略テーマ名は仮に『防災（仮）』・『交通安全（仮）』・『防犯（仮）』としてある。安全・安心分野のまちづくりとは何かということ、災害への対応である。災害は自然災害と人的災害に分けられるが、戦略テーマの『防災（仮）』は自然災害への対応で、『交通安全（仮）』と『防犯（仮）』については人的災害への対応となる。戦略テーマ名については、今日みなさんに考えていただく。戦略テーマの内容としては、今までの議論をもとにどんな状態にしたいのか、その背景は何かということと、関連するデータを記載してある。そして戦略テーマ実現への方策も、これまで整理してきたように短期・中期・長期、ハード・ソフト・ハートづくりに分けた上で文章化している。

以上、提言書のたたき台として作成した資料の概略について説明した。ここまでについてはよろしいか。

—各委員了解—

2 部会長報告について

佐々木部会長：具体的に提言書の内容を確認していきたい。まずは議論の概要や方向性、部会の想いなどを記載した部会長報告であるが、すべて読み上げていくので、修正すべき点や気になる点があればご指摘いただき、より良い提言書となるよう議論していきたい。

自分で改めて見直して気になったところで、「市民もまちづくりに関心をもって参加」とあるが、「参加」を「参画」にした方がよいと思うが如何か。それと、「市民自治意識」を「市民の自治意識」としたい。

- 「除排雪についても当然市が」を「除排雪についても当然、市が」と読点を入れた方が良い。
- 「事業を実施する際にもっと連携を強化していく必要がある」に「相互に」を追加して「事業を実施する際に、もっと相互に連携を強化していく必要がある」としてはどうか。

佐々木部会長：では以上の点を修正する。

3 まちづくり政策提言について

佐々木部会長：まちづくり政策提言については、マトリックスに整理した意見を文章化したものであるので、突き合わせながら確認していただきたい。

短期のハードの⑦「歩行者と自転車の安全な通行」と書いたが、「交通安全のための体制づくり」にしてはどうかと考えている。中期の取り組みとして自転車道の整備があるが、その前段として交通安全の体制ができていないと具体的な施策は進んでいかない。そしてこの体制づくりの最初に「警察との連携」を入れたい。

短期のソフトの④「介護施設の避難に地域住民のサポート」は「介護施設の避難に地域住民によるサポート」に修正する。⑤「市民と行政の協働による安全・安心なまちづくり」も「市民と行政の協働による安全・安心なまちづくりの推進」に修正する。

短期のハードづくりの①「他の機関等との連携強化」としたが、他の機関等との連携だけではなく、市役所内の組織同士の連携のことも大事であるので、「市役所の組織内の連携及び他の機関等との連携強化」とする。例示も「警察との連携」だけでなく、「消防との連携、警察・札幌開発建設部との連携」とする。

ソフトとハードの区別が抽象的でわかりにくいと感じているが、分け方で気になるところはないか。

- 短期のソフトの⑦「自転車利用者のマナー向上」は、利用者の考え方や気持ちを変えさせるという意味ではハードづくりではないか。

佐々木部会長：ではハードづくりに移動する。

- 短期のハートづくりの①の例に「入植の歴史を踏まえた他自治体との災害時支援の連携」とあるが、おそらく入植の歴史のことを知らない市民がほとんどで現実的ではなく、またこの部会としては身近な自治体や他の機関等との連携強化をはかっていくという提言とするため、これは提言に入れなくてよいのではないか。

佐々木部会長：その例示は提言から外すことにする。

防災教育についてどこかに提言として入れたいと考えているがどう思うか。

- 短期のハートづくりの③「避難訓練の充実」を「防災教育・防災訓練の充実」としてはどうか。

佐々木部会長：そのように修正し、防災教育のことを提言に入れることにする。

- 中期のハートづくりのところで、①が「除排雪の充実」で②が「市民と行政の協働による安全・安心なまちづくり」となっているが、除排雪は今回戦略テーマに入れなかったものなので、順番的には市民との協働の方を①に持ってきた方がよい。

佐々木部会長：除排雪の記載内容はこれでよいか。

- まちづくり政策提言に入れてしまうと、なぜ戦略テーマにしなかったのかということになるので、番号は付けずに「※」で採用しなかった理由の記載のみにした方がよい。

佐々木部会長：では例示もすべて削除し、「※ 除排雪の充実を求める声が多かったが、除排雪については雪国では避けることのできない問題で、我慢が必要な部分もあり、市民と行政で話し合いながら、どこまで財源をかけて取り組むべきかを考えていく必要がある。」の記載だけにする。

- このまちづくり政策提言の部分は箇条書きになっており、どれがどの戦略テーマに該当するかわかりにくくて見にくい。

佐々木部会長：他の部会ではどうなっているか。

⇒（事務局）他の部会も同様の体裁である。まちづくり政策提言は、戦略テーマに入らなかった意見も含めて、すべての意見を網羅的に記載した部分のため、このような体裁となっている。

- 戦略テーマと照らし合わせようとするとうわかりにくいので、何か工夫できないか。

- 全体の方向性としてまちづくり政策提言ではこれらの意見が出た、それを踏まえて我々としては3つの戦略テーマを重点化した、という説明をどこかに入れればわかりやすくなるのではないか。

⇒（事務局）体裁については他の部会にも共通することなので、記載の仕方について検討させていただく。

4 戦略テーマ提言について

[戦略テーマ：防災（仮）]

佐々木部会長：『防災（仮）』から確認していく。どんな状態にしたいのかの欄に「すべての人が安全に避難できるようにする。」とあるが、避難の前にまず命

を守ることが必要なので、「生命を守る」という文言を入れた方が良いでしょうか。

- 文言を変えない方がストレートでわかりやすい。

佐々木部会長：ではこのままとする。

- 立案背景に「防災への関心が高まっている」とあるが、「関心」だと他人事のようなイメージになるので、「必要性」という意味合いではないか。「必要性」だと少し言葉が弱いかもしれないので、もっと強い言葉がよい。
- 我々が議論しているのは、現在の取り組み等を改善していこうという提言であるから、「防災への関心が高まっている」を「防災対策の早期改善が迫られている。」としてはどうか。
- 切迫している感じが出てよい。それと、その直後の「また」はいらない。
- 「経験もあり、日頃から高い意識をもって備えておく必要がある。」を「経験もあることから、高い意識をもつ必要がある。」とした方がすっきりする。

佐々木部会長：では以上の文言を修正する。

【戦略テーマ：交通安全（仮）】

佐々木部会長：次に『交通安全（仮）』の内容を確認していく。

立案背景に、自転車利用者が増えていることは書いたが、歩行者のことも記載した方がよい。「エコの観点から自転車の利用が増えており、」の部分
を「エコの観点から自転車を利用したり、健康づくりの観点から歩いたりジョギングをする人が増えてきた。」としたい。

- 立案データを見ると、確かに昔に比べれば自転車による事故がかなり増加しているが、最近の傾向は横ばいである。最近の傾向だけ見れば特に力を入れなくても良いようにも見えるが、昨今問題となっているのは、歩行者と自転車による重篤な事故が増えていることである。

佐々木部会長：「全国的に自転車による事故が増加傾向にある。」を「自転車による重篤な事故が増加傾向にある。」とする。

「環境に配慮したまちづくりに向けて」も「安全なまちづくりに向けて」に修正する。

- そのあとの「江別が率先して自転車の交通安全対策の取り組みをしていく」は、すでに他都市で取り組んでいるところもあるので、「江別市も率先して自転車の交通安全対策の取り組みをしていく」とした方がよい。

佐々木部会長：戦略テーマ実現への方策の短期・ソフトに「高齢者による冬の車道での自転車通行は大変危険であり、すぐに取り組む必要がある。」とあるが、これはさきほどまちづくり政策の整理の際にハートづくりへ移動したため、こちらでもハートづくりに移動する。

- これは高齢者に限った話ではないので、「冬の車道での自転車通行は大変危険である

ため、早急に安全対策に取り組む必要がある。」とした方がよい。

- 中期のソフトにマナーの向上に関する取り組みを記載しているが、これもハードづくりに移動した方がよい。

佐々木部会長：では中期にハードづくりを追加し、ソフトに記載した「短期から中期にかけてのハード面の整備にあわせ、自転車マナー（乗り方）啓発や、整備された自転車道をどのように活用するか実際に使う市民の教育をしていく。」を移動する。これに対応するまちづくり政策提言の部分も同様に移動する。

[戦略テーマ：防犯（仮）]

佐々木部会長：次に『防犯（仮）』の内容を確認していく。部会での議論ではこの戦略テーマは、高砂地下歩道のことを何とかしたいということが主な内容であったが、地下歩道のことだけを書いたのでは戦略テーマとしては弱いので、防犯全般的な内容としてある。

どんな状態にしたいのかの欄の「市民自治意識」を「市民の自治意識」とし、「犯罪の無い」を「犯罪のない」に修正する。

戦略テーマ実現への方策の短期・ソフトの「6丁目踏切あとの高砂地下歩道」は「新しく完成する6丁目踏切あとの高砂地下歩道」に修正する。

また、「子どもが安全に遊べるように公園の防犯対策を行う。」とマトリックスの意見をそのまま記載したが、江別にはせっかく特徴のある公園があるので、それを活用するためという意味合いも込めて「江別市内には各地区に特徴のある公園があるが、それを積極的に利用するためにも子どもが安全に遊べるように公園の防犯対策を行う」としたい。

中期のハードづくりの文章の最後の方が長いので「市民参加の支援や市民自治意識の向上を図ることを目的とした組織を充実させ、協働参画社会を実現していく。」から「市民参加の支援や市民の自治意識の向上を図る。この組織の充実により協働参画社会の実現を目指す。」と修正する。

短期・ハードに「防犯機能付き街路灯を整備して犯罪を抑制する。」と入っているが、まちづくり政策提言では防犯機能付き街路灯の設置は中期・ハードになっているので、それに合わせて中期に移動する。

- 立案背景に「全国・全道において減少傾向にあり、江別市においても同様に減少傾向にある。」とあるが、わざわざ「減少傾向」を2回繰り返す必要はないので「全国・全道において減少傾向にあり、江別市においても同様である。」の方がよい。

5 戦略テーマ名について

佐々木部会長：最後に仮称としている戦略テーマ名を決めたい。

- 『防災（仮）』は『災害に強いまちづくり』はどうか。
- 「強い」より「負けない」にしてはどうか。

○ 「負けない」の方が気持ちが入っている感じがする。

○ 『未来に向けた安全・安心なまち江別』はどうか。

佐々木部会長：『未来に向けた安全・安心なまち江別』であれば、『防災（仮）』にも『交通安全（仮）』にも『防犯（仮）』にもすべてに当てはまるので、これは大きな全体のテーマ名とし、『防災（仮）』については『災害に負けないまちづくり』としたい。

○ 『防犯（仮）』は『安心して暮らせるまちづくり』でどうか。

佐々木部会長：『交通安全（仮）』は、思いやりなど気持ちの面を表現できる名前にしたい。

○ 『マナーと思いやりで事故のないまちづくり』はどうか。

佐々木部会長：では戦略テーマ名は『未来に向けた安全・安心なまち江別～災害に負けないまちづくり』・『未来に向けた安全・安心なまち江別～マナーと思いやりで事故のないまちづくり』・『未来に向けた安全・安心なまち江別～安心して暮らせるまちづくり』とする。